

● 第2次産業就業者比率

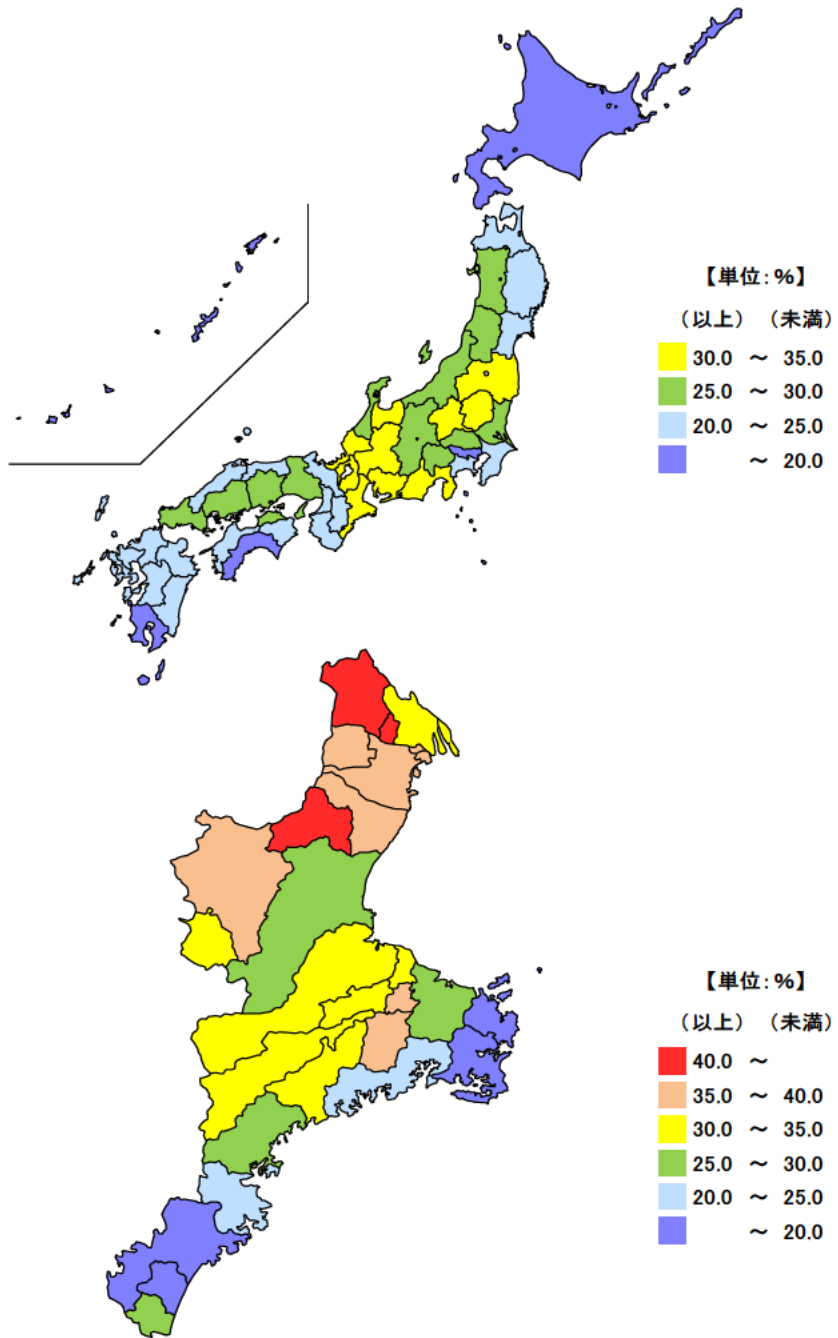
平成22年

単位：％

都道府県	値	順位
全 国	25.2	
滋 賀 県	34.5	1
富 山 県	34.0	2
静 岡 県	33.7	3
愛 知 県	33.6	4
岐 阜 県	33.6	5
三 重 県	32.8	6
鹿 児 島 県	19.6	43
北 海 道	18.1	44
東 京 都	17.6	45
高 知 県	17.5	46
沖 縄 県	15.4	47

単位：％

市 町	値	順位
いなべ市	47.2	1
亀山市	41.9	2
東員町	40.1	3
菟野町	39.4	4
伊賀市	39.2	5
川越町	37.9	6
朝日町	37.9	7
度会町	37.6	8
鈴鹿市	37.3	9
玉城町	35.6	10
四日市市	35.1	11
木曾岬町	34.5	12
桑名市	34.0	13
多気町	33.8	14
名張市	33.1	15
明和町	32.6	16
大紀町	32.1	17
松阪市	32.0	18
大台町	31.2	19
紀北町	28.5	20
伊勢市	28.1	21
紀宝町	27.3	22
津 市	27.3	23
尾鷲市	20.8	24
南伊勢町	20.8	25
志摩市	19.8	26
熊野市	18.2	27
鳥羽市	17.7	28
御浜町	15.0	29



平成22年の三重県の第2次産業就業者比率は32.8%で、全国平均より7.6ポイント高く、全国順位は6位となっています。全国的には滋賀県及び東海北陸の各県が高くなっています。

県内では、いなべ市、亀山市、東員町が高く、40%を超えており、御浜町、鳥羽市等4市町は20%以下となっています。

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

第2次産業就業者数÷全就業者数(「分類不能の産業」就業者を除く)×100